

くにびき 24 旗の会 講演会

演題：『出雲玉作、その後の物語』

古代出雲の玉作は、操業が古墳時代～平安時代に及ぶ長期であったことや、その玉を介してヤマトと極めて密接な関係を持ったことは広く知られています。しかし古墳時代を過ぎると人が玉を身に着けることは皆無となり、まさに『消えたアクセサリー』の時代を迎えます。

何故日本列島から玉が消えるのか……。玉に対する価値観の変貌過程を辿りながら、出雲メノウ細工に関わる技術導入や古代玉作の歴史的探究に尽くした人々の足取りを紹介します。

興味のある方はどなたでも自由にご聴講お待ちしております。☆

講演会の内容

日時：平成 28 年 1 月 16 日（土）10：00～12：00

会場：いきいきプラザ島根 4 階 403 研修室

講師：^{みやへ}三宅 ^{ひろし}博士 先生

プロフィール

昭和 24 年 兵庫県に生まれる
昭和 50 年 県立八雲立つ風土記の丘学芸主事
平成 3 年 安来市教育委員会に移籍
平成 21 年 松江市立出雲玉作資料館館長
現在シマネスクくにびき学園主任講師

参加料：無料 事前申し込み不要

問い合わせ先：くにびき 24 旗の会

会長	三島 武美	携帯 090-7772-2659
	堀江 譲	携帯 090-7376-0705
	松浦 敏彦	携帯 090-8360-8206

主催：くにびき 24 旗の会（くにびき同窓ネットワーク）

共催：出雲玉作資料館友の会

